



福岡市佐賀県人会会報



夢とロマンの丘公園 三日月町

目 次

平成15年度 総会.....	2~3
ごあいさつ 佐賀県知事 古川康さん.....	4
春の叙勲 辻 長英さん.....	5
新理事紹介 井上説蔵さん・嘉村博さん・永田健生さん.....	6~7
檜原湿原の植物.....	7
ふるさとの首長・ふるさと紹介 三日月町 林 富佳町長.....	8
このごろ私は 越智正憲さん・古賀清見さん.....	9
佐賀県だより 佐賀新聞社 提供.....	10~11
トピックス 伊万里湾大橋.....	12
最近の入会者名簿・佐賀情報センターだより・編集デスク.....	12

47

2003.7

さて、この度の統一地方選で当選された古川佐賀県知事の代理として川久保副知事がお見えになり、福岡市からは山崎市長の代理として酒井港湾局長が、また佐賀市からは加治屋産業部副理事、多久市からは横尾市長、相知からは太草町長がお見えになりました。この後、各界のご来賓のご挨拶を頂戴し、議事に移りました。



▲原口議員

▲陣内議員

せて戴きます。」
続いて来賓のご紹介に移り、国会からは衆議院議員の山崎拓(代理、保利耕輔(代理)、原口一博の三氏、参議院議員の陣内孝雄氏がお見えになり、県議会からは田中久也、堀宏行、大原弥寿男(代理)の三氏、また、市議会からは小島久弥、森山英樹、川上晋平の三氏にお出で戴きました。更に大宰府市議会より岡部茂夫、橋本健の両氏にご参加戴きました。



▲左より永田・嘉村・井上・三氏の三氏、次に、理事の増員と、井上・永田・嘉村・永田・三氏の三氏が、推挙され、

そして、山下代表理事より平成十四年度の業務・収支報告及び十五年度の予算案等が提案報告され、古賀監事より監査報告の結果満場一致で承認され、本年度の議事を終了しました。
さて、ここまで来れば乾杯は目の前です。この後、祝電の披露を駆け足で行って、十五年度の総会を終了しました。「乾杯です！」
ここからは、光り輝く清村理事の登壇で司会進行です。壇上には金子会長・指山副会長・永倉副会長・井浦副会長・そして原口・陣内両議員の六人衆で鏡割りの準備が始まりました。天山酒造提供のたる酒には溢れんばかりの清酒が詰めてあり、エイエイオーの掛け声と共に打ち下ろされた木槌からは黄金の雫が光っていました。



▲三人揃って、ハイポーズ！



▲宮崎さん提供の南極の水です。

▲景気はどうですか？



▲本日出席の中で、一番若い(?)女性三名によるご挨拶です。



一杯、どうぞ。

▲高橋流津軽三味線、高橋親娘による競演。やっぱり迫力があります。



▲エイエイオーで鏡割り



恒例の総踊り。
みんな仲良く
お手々をつないで。
さあ、栄の国からを
おどりましょう。



平成15年度 福岡市佐賀県人会総会

平成15年6月13日(金)

於KKRホテル博多

金子会長
開会の挨拶

皆さん、不思議だと思いませんか？梅雨だというのに総会の日に降ったという記憶がありません。県人会パワーでしょうか。台風もサーズも避けて通過して行きます。でも景気だけは避けてほしくないですよ。
さて、今年も六月十三日、恒例の福岡市佐賀県人会が「KKRホテル博多」で開催されました。梅雨の合間の快晴と

皆さん、不思議だと思いませんか？梅雨だというのに総会の日に降ったという記憶がありません。県人会パワーでしょうか。台風もサーズも避けて通過して行きます。でも景気だけは避けてほしくないですよ。
さて、今年も六月十三日、恒例の福岡市佐賀県人会が「KKRホテル博多」で開催されました。梅雨の合間の快晴と

指山副会長
開会宣言

会は年二回の集まりがございますが、今日も大勢の方々にご出席戴きまして、今も指山副会長がおっしゃっていただきましたように、本日に天気に恵まれて開催出来ることを嬉しく思っております。これも会員の皆様のご精進の賜物ではないかと感謝申し上げます。
さて、福岡市佐賀県人会が昭和二十六年五月に復活され

比べて非常に活気の有る都市だと、他所からお見えになる方々からよく言われます。これは、九州全体の中心都市として福岡市が育って来ているのではないかと、思う次第でございます。
話は変わりますが、昨年からは今年にかけて、イラク戦争だとか新型肺炎のサーズだとか、いろいろな面で私どもの周囲で事件が多発しております。

ですが、特に旅行業は打撃が大きい訳でございまして、その分、佐賀県の方にお越しいただくようによく言われますが、あまりにも近すぎて何となく行きそびれている方が結構いらっしゃるようでございます。今ではもう佐賀県も福岡県も、全て交通が便利になっておりますので、いろいろな面でお互い助け合ってゆかなければと思う次第でございます。

さて、統一地方選挙も終わり、佐賀県の方でも知事さんがお替りになりました。我々期待している次第でございますが、福岡市も山崎さんが市長に再選されまして、佐賀県とのつながりを強く言われております。福岡市は、四月二十一日に「福岡アジアビジネス特区」の認定を受けられましたし、今後もシーサイドももち、九州大学キャンパス・アイランドシティなどを中心に市内全域で経済活性化に向けた様々な事業を実施されるなど益々活気溢れる都市になって行くと思えます。又、七月には前原道路が全面開通予定ですし、地下鉄三号线も着々と工事も進行して更に魅力ある都市になってゆくものと思えます。更にまた、文化面やスポーツ面でも様々な交流が図られ、地方からの来福者が増加していると聞き及んでおります。その意味では今後益々福岡市と佐賀県があらゆる分野で緊密な関係を築き上げて行かなければならないと思う次第でございます。

さて、今日は総会でございます。この後いろいろ審議もございまして、私のご挨拶とさせていただきます。

さて、統一地方選挙も終わり、佐賀県の方でも知事さんがお替りになりました。我々期待している次第でございますが、福岡市も山崎さんが市長に再選されまして、佐賀県とのつながりを強く言われております。福岡市は、四月二十一日に「福岡アジアビジネス特区」の認定を受けられましたし、今後もシーサイドももち、九州大学キャンパス・アイランドシティなどを中心に市内全域で経済活性化に向けた様々な事業を実施されるなど益々活気溢れる都市になって行くと思えます。又、七月には前原道路が全面開通予定ですし、地下鉄三号线も着々と工事も進行して更に魅力ある都市になってゆくものと思えます。更にまた、文化面やスポーツ面でも様々な交流が図られ、地方からの来福者が増加していると聞き及んでおります。その意味では今後益々福岡市と佐賀県があらゆる分野で緊密な関係を築き上げて行かなければならないと思う次第でございます。



このたび、佐賀県政を担当させていただくことになりました古川康です。

日頃から、福岡市佐賀県人会の皆様には、温かいご支援をいただき、心よりお礼を申し上げます。

さて、時代はこれまでの経済成長時代から、いよいよ成熟時代に入りました。人口や経済、開発など様々な面で、右肩上がりであったこれまでの「増大社会」から、人口減少、成熟経済など「縮小社会」への転換がすでに始まっています。

画一的な横並び意識ではなく、一人ひとりの個性ある意識の尊重が幸福感をもたらす時代が到来したと言えます。これからは各地域が創意工夫を凝らして個性を発揮し、地域住民の幸福感を高めるべく競争していく時代であり、「佐賀であること」をブランドに、アジアの中で、世界の中で競い合える元気な佐賀を目指したいと思います。

また、グローバル化や情報化、多様化の進展による急速な時代の変化の中での県づくりは、県民の皆さんと情報を共有し、みんなで考え、そして知恵を出し合っ、県政を進めていく必要があると考えます。「正確な情報は常に現場にあり、県民にある」ことを念頭に、「オープン・さが」すなわち県民の皆さんと協働して明日の佐賀県を創ります。

そして、県民一人ひとりの幸福感を高めるために、「生産優先から生活優先へ」、「集中から分散構造へ」、「開発から回復へ」の三つの転換が不可欠と考えます。自分が住む地域への関心と地域社会の

再構築を進める「生活優先がもたらす地域の再生」を目指し、女性や生活者の視点を大切に、県民一人ひとりの幸せを追求します。

また同時に、「緊急優先課題」である景気対策についても、地域経済の活性化と雇用環境の改善に直ちに取り組みます。地元企業の競争力を高めるための新たな支援策を早急に実行し、あわせて先端技術や地域資源を活用した新しい産業の育成・誘致を進めていきます。

私たちの佐賀県を「すべての人が輝き、活躍できる県」、「活力あふれる、パワフルな県」にしていくため、全力で取り組んでまいります。

福岡市佐賀県人会の皆様には、今後とも「ふるさと佐賀」に、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、貴会の今後ますますのご発展と金子会長様はじめ、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

福岡市佐賀県人会

会長	金子 宜嗣
副会長	辻 長英
代表理事	井浦 順爾
常任理事	山下 廣人
理事	田中 秀男
理事	太田 勇吉
理事	田中 則雄
理事	井上 浩輔
理事	沢村 利次
理事	落合 良太
理事	水間 繁俊
理事	清村 克行
理事	井上 説藏
理事	嘉村 博
理事	永田 健生
理事	古賀 利治
監査	久保 悦次

暑中お見舞申し上げます

辻 長英さん(七二)

春の叙勲
勲四等旭日小綬章



《ご経歴》

昭和二五年 福岡県立修猷館高等学校卒業
 昭和二九年 西南学院大学商学部卒業
 昭和三一年 熊本大学工学部建築学科修了
 株式会社社組入社
 昭和四七年 同社代表取締役社長就任
 平成二年 九州建設株式会社へ社名変更
 平成九年 代表取締役会長就任
 平成十三年 相談役就任
 現在団体役員
 福岡商工会議所 一号議員・常議員
 他多数兼任

《好きな言葉》

『人間万事塞翁が馬』

長年、建設業に従事し
業界発展に尽力した
功績により、
受章されました。
会員一同で
お祝い申し上げます。

佐賀県福岡情報センターだより

かしはる
檜原湿原の植物

今では「九州の尾瀬」とも称される佐賀県七山村の檜原湿原一帯も、昔は農家にとって水はけが悪く、夏はマムシが支配するような耕作には不向きな湿地でした。昭和29年、佐賀県嬉野町の植物学者、故馬場胤義氏の調査により一躍脚光を浴びました。今回は最高のシーズンを前に、檜原湿原の植物について紹介します。

湿原の四季はじつに多彩です。遅い雪解けのあと、真っ先に私たちの目を楽しませてくれるのが氷河期からの生き残り植物のミツガシワ。本来寒い地方に多い植物で、4月下旬に白いかわいらしい花を咲かせます。そして最も湿原が賑やかになるのが夏。トキソウは淡いピンク色の花がトキを連想させ、ユウスゲは夕方から黄色の花を開花させ、コオニユリのオレンジ色の花とあいまってお花畑を連想させます。その合間を日本最小のトンボ、ハッチョウトンボがなわばりを守っています。しかし湿原の主役はなんといってもサギソウでしょう。8月上旬が開花のピークで、純白で可憐な花は名前の通り驚が羽を広げた様に似ています。カメラマンが遊歩道に列をつくりシャッターを切る気持ちがよく理解できます。

また、小さな植物ですがモウセンゴケやタヌキモ、ミカキグサといった食虫植物の仲間を観察するのも隠れた魅力です。じっくり探すとあちこちで生物の生き抜くための戦略が繰り広げられていることが体感できます。

今では自然環境保全特別地域に指定され、すっかり有名になった檜原湿原ですが盗掘も後を絶ちません。自然のままの環境にあってこそその美しさだと気づいて欲しいものです。

これからのシーズンは、福岡県からも多くの方が湿原を訪れます。休日には監視員の方がパンフレットを配りながらガイド役も務められ、とおきのお話を聞くこともできます。

避暑もかねて湿原のお花畑を訪れてみませんか。きっと心やすらぐ休日になりますよ。

※ 檜原は「かしはる」とも呼ばれる。



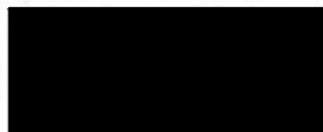
役員就任挨拶
理事 永田 健生

福岡市から昭和六十三年三月に私のふるさと唐津市に仕事の関係で赴任し、再びこの平成十五年四月に福岡市へ、実に十七年ぶりの福岡で突然の福岡市佐賀県人会の理事へのご推薦に仰天いたしております。この大役に不安と戸惑いで身が引き締まる思いです。

ふるさとを離れ都会で暮らす者の楽しみのひとつが、県人会の集まりだと思えます。

同じふるさとをもつ者同士の気安さで、又都会生活のさまざまなストレスを思い切って発散していただく会として、そして、ふるさとの話に花を咲かせていただける場として、このすばらしい福岡市佐賀県人会が一層発展いたしますよう微力ではございますが事務局のお手伝いをしていきたいと思ひます。

どうか会員の皆様のご指導をお願い申し上げます。



入会の勧め
県人会では毎年恒例の行事として、年度総会および懇親会を開催し、会員の親睦交流を図っています。また会員には年二回発行の「会報くむつごろ」をお届けします。未加入県出身者に入会を勧めて下さい。入会あるいは紹介の問い合わせは、県人会事務局へどうぞ。



役員就任挨拶
理事 嘉村 博

「気にかゝる故郷」

佐賀は「山紫水明」。富士町を離れはや四十年に成ろうとしているこの頃、今ではすっかり福岡の人間の顔を乍ら日々建築業に精を出していますが、身体の内には常に「佐賀もん」という意識を持ち続けているつもりです。

若い頃は、「佐賀の七賢人」とか「郷土の歴史」等には興味を持たず過ごしてまいりましたが、最近とはみに、佐賀のニュースを聞けば気に掛け、特に佐賀空港問題に関しては「何とかならんもやろか」と郷土愛に目覚めている次第です。

二十年前に両親と一緒に住む事となり、佐賀にはもう帰る処は有りませんが、臉を閉じれば、故郷の山々が今も懐しく浮びあがります。

さて、この度県人会の理事を仰せつかりましたが、ふるさと佐賀との橋渡しに少しでも役に立てばと思い、真摯に取り組まさせていただきます。

先輩理事様の御指導を受け乍ら頑張りますので、何卒よろしく御願ひ申し上げます。



役員就任挨拶
理事 井上 説藏

この度、福岡市佐賀県人会理事就任の依頼があり、多少戸惑いましたが、お引受けすることに致しました。今迄県人会には年一回の総会に出席する程度でした。此れからは会則から勉強せねばならない次第です。

私の経歴は、㈱佐賀共栄銀行に二十年、㈱トヨタカラー福岡に四年勤務、後に㈱美化、㈱美光、㈱太陽クリンの役員を歴任、現在に至って居ります。

二十数年前に佐賀県人会入会により、多少メリットをと思い入会したのがきっかけでした。上記三社は順調に成長し今日に至って居ります。

更に私が嬉野町出身の為、嬉野町より「うれしの福岡会」設立の話しが平成十年秋にあり、町出身者の協力により漸次成長しつつあります。

此れからは佐賀県人として、規約第四条一佐賀県関係者の相互連絡・親睦・繁栄を目的とする一条項にのっとり、佐賀県の繁栄・会員皆様の繁栄に多少お役に立つ理事であることを誓ひ、役員就任の挨拶と致します。

皆様のご支援よろしく御願ひ致します。



平成十五年六月就任

新理事紹介

平成十五年の総会に於て新しく理事として就任いただきました。「就任のご挨拶」をお願いしました。

創業昭和24年

選ばれる昭和をめざして

ハイヤー (大・中型)
タクシー (ジャンボ・中・小型)
自家用自動車運行管理
観光バス (中・小型)

福岡昭和タクシー株式会社
代表取締役社長 金子 宜嗣
福岡市中央区渡辺通り2-4-35
TEL 092-761-2531

はじめてまして！サガテレビ福岡支社の越智正憲でございます。

昨年の十月一日付けにて福岡へ転勤となりました。

大学時代を過ごした思い出の地福岡、三〇年振りの思い出の地は大きく様変わりをしていました。路面電車・平和台球場・百道浜は既に無く、夜食に通った長浜屋台は今や観光スポットです。転勤して間もない頃、懐かしい下宿を求めて旧城南線鳥飼電停周辺を訪ねましたが、



『30年ぶりの福岡』
越智 正憲さん



大きなマンションに様変わりし、ただ一箇所毎日通った食堂だけが残っていました。その食堂で定番だったチャンポン小めしのメニューを堪能しました。懐かしい！私にとって福岡・博多は思い出の宝庫です。

今その福岡に単身生活を始めて早八ヶ月。自家用車の通勤からバス通勤への変化に漸く慣れてきました。大勢の人と情報が毎日大きく動く福岡、その福岡で今日も又色々な方々との出会いを求めて歩き回っています。皆さん天神の街角で私を見掛けたら佐賀弁で声を掛けてください。よろしく御願い致します！！

サガテレビ福岡支社長
(住所)
福岡市中央区小笹
三丁目十一番一七
チサンマンション小笹
四〇四



昭和四十四年銀行へ入り、既に三十三年という月日がたつた。想えば若いときには、五十歳の管理職といえ、分別ある大人というイメージがあったが、自分がその年齢になると、何となくそんな立派な男ではないと感じている。いまだにちよつとした事で喜んだり、悲しんだり、考えてみれば、二十歳代のころと本質的には何ら変化のない自分に驚いてしまう。

五十歳を過ぎた今、自分の人生とは何だろうかとか考える時が多くなってきた。それは何故だろうか。三十歳代の若さと体力が少しづつなくなり、実年と言われる五十歳代にある今を、人生のターニングポイントだと感じるからだろうか。



『人生のターニングポイント』
古賀 清見さん

ところで、私はきわめて趣味のない人間である。かといって仕事一筋というタイプでもない。なんとも平凡な人間であることか。趣味とはいえないが、娘の影響もあり、マラソンのテレビ中継をよく観る。どんなレースでもそれなりにいつも感動を与えてくれる。それは、他のスポーツに比べ、マラソンが走るという基本動作の繰り返しの中で、日頃の鍛錬と自分に負けないとする精神力、そしてレース展開における相手との微妙な駆け引きが、まるで人生そのものを凝縮しているように映るからであろう。時代の流れの中で、組織の一員としていつも全力疾走しているつもりでいても、いつしかストライドが伸びなくなり、見る見る後続に追いつかれるといった場面もあるだろう。しかし、レースを面白くするも、盛り上げるのも、最終的にはきつと自分自身の考えと、努力次第なのであろう。

残された半生、前向きに生きていこうと思っている。

佐賀共栄銀行福岡支店長
(住所)

CROWN
ROYAL EXTRA "LIMITED"
特別仕様車 2.0 ロイヤルエクストラ "リミテッド"

新登場

メルセデス・ベンツ・プリウス・アリオンの
福岡トヨタ自動車株式会社
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8-28 ☎(092) 731-5555



PHOTO: Crown特別仕様車2.0 ロイヤルエクストラ "リミテッド" Crownは295.0万円から

ふるさとと紹介



三日月町
林 富佳町長

「人がまんなか、笑顔が集う条里のさと」

今度は、福岡市佐賀県人会会報に、三日月町を紹介させて頂きます機会を与えて頂きありがとうございます。

三日月町は美しい自然と条里に基づき集落や水田が整備されており、現在でもその遺称地が良く伝えられていることは全国的に有名です。また、歴史と伝統に培われた米どころとして日本米づくりの栄誉にも輝き、遠い祖先が残した肥沃な土地と農業文化を象徴する町でもあります。

しかし近年は、佐賀市のベッドタウンとしての人口増加更には国道沿線に、企業・店舗などが進出しており商業の発展が目覚ましいのがあります。今まさに三日月から満月を目指してはたらく事ができる町であると思っております。

平成11年からは、「人がまんなか笑顔が集う条里のさと」をキャッチフレーズとした21世紀の

三日月町を展望する第2次総合計画が始まっており、本年3月には、生活環境の整備として農業集落排水事業による下水道の一部を供用開始しており、5月には児童福祉の児童センターを落成させております。

更に、保険福祉の充実策として平成17年9月の完成を目指し、総合保健福祉センターの整備事業を進めております。

また、昨年9月には、小郡郡4町で法廷の小郡郡合併協議会を設立し、合併について議論を行っているところですが、今後とも教育・福祉・産業等の層の充実と諸問題の解決に努めながら、住みよい町づくりを積極的に進めたいと考えております。皆様のご協力とご理解を宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、福岡市佐賀県人会の今後益々のご発展と会員皆様のご健勝ご多忙を心からお祈り申し上げます。



▲ 図書館

ふるさと紹介
三日月町

当町は、佐賀県のほぼ中心部に位置し、西南暖地の恵まれた自然条件のなか、北部に天光山麓が連なり、南部には佐賀平野に属する豊かな農地が広がっています。周囲は、六市町の小城町、牛津町、久保田町、佐賀市、大和町、富士町と接しています。

交通体系も南部にJR九州長崎本線久保田駅、西北部にJR唐津線小城駅があり、中央には国道二〇三号線が横断、西部には国道二四号線、北部には長崎自動車道が横断しています。長崎自動車道佐賀大和インターチェンジまで十分、佐賀市街まで五分と近隣する都市への道路網が整備され、人口の増加が進んでいます。

当町では、平成八年五月にオ

ープンしたドウイング三日月を文化の拠点とし活発な活動を展開しています。施設は、生涯学習センター、図書館、ふれあい公園を備えた複合文化施設であります。

図書館については、各集落を巡回する自動車図書館等のサービスにより一人当たり貸し出し冊数が五年連続で県内ナンバーワンです。また、自然木のぬくもりを取り入れ、開放的で温かい雰囲気です。

ふれあい公園については、テニスコート、イベント用の野外ステージを設置し、春に農産物感謝デー「みんなでおいでん祭」、夏に夏祭り「ムーンファンタジー」、三日月、秋に「ふるさとふれあい祭」が開催されています。

また、今年五月すぐ近くに児童センター「ゆうゆう三日月」がオープンしました。

ゆうゆう三日月は、九州の町村では数少ない大型の児童センターであり、〇歳から八歳までの児童及びその保護者の方達が主に利用できます。

センター内には、くつろぎの場（談話・図書コーナー）、創造・挑戦の場（創作活動室・音楽スタジオ）、たくましい心と身体をつくる場（遊戯室・談話室）、



▲ 児童センター

仲間づくりの場（集会所・遊戯室・屋外遊び場）、子育て支援の場（乳幼児・幼児室・砂場）があります。周辺には体育館もありますのでさらに充実した環境になります。休日には家族連れでのんびり過ごすのにぴったりです。三日月町に来られるときは、ぜひドウイング三日月に寄ってみてください。

夏には、夢とロマンの丘公園と町民野外研修センターがお勧めです。緑に囲まれ、自然環境にもめぐまれています。夢とロマンの丘公園には、全長六〇mのローラースライダーがあり、町民野外研修センターは、ロジ風の建物で宿泊棟、キャンプファイヤー場、炊事場があります。周辺には、藤隠れの滝や、小川を利用した親水公園があり、夏には涼しくゆったり過ごすのにぴったりです。研修センターのご利用は生涯学習課（0952-721161）までご連絡してください。佐賀に来られたときに、お寄りください。

さが桜マラソン
Qちゃん特別参加

◎2003さが桜マラソン(佐賀陸上競技協会・佐賀新聞社主催)が四月六日、佐賀市の県総合運動場を発着点とするコースで開かれた。4部門、11種目に5101人が出場。特別ゲストとして参加したシドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子選手とともに、花に彩られた佐賀平野を駆け抜けた。

好天に恵まれ、カラフルなユニホームに身を包んだ選手たちは、心地良い汗を流しながらゴールを目指した。メインのハーフマラソン一般男子は堺俊幸選手(福岡)が1時間5分48秒で優勝した。スタート前の開会式では緒方文江佐賀陸上競技協会会長、中尾清一郎佐賀新聞社長が「楽しくさわやかに走り抜いてください」と選手を励ました。



ジョギングの部にも参加、家族ランナーたちも笑顔で走る高橋尚子選手

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

第100回有田陶器市
過去最高の132万人

▲記念すべき100回を迎えた有田陶器市

超えることができた。今後も良品を生産し、来場者百万人を定着させたいと話した。

伝記漫画を発刊

◎郷土が生んだ偉人を知って、多分市教育委員会が、小中学生向けの伝記漫画を発刊した。第一弾として電気工学者の志田三郎(一八五五―一九二二年)を取り上げており、今後シリーズ化する。同教委は子どもたちにふるさとの偉人や文化、自然、産物を学んでもらうために「地域素材の教材化」を進めており、伝記漫画もその一環。

第一弾の「志田三郎」は、多分市立の武富秀之教諭が、多分市小に勤めていた五年前、学習教材用に描いた作品。志田が東原市立や工学寮(現在の東大工学部で学び、日本の工学博士第一号になったことなど、史実に基づいて描いている。

お笑いタレント「はなわ」さん
念願のCDデビュー
◎ついにと言うか、とうとうと言うか、佐賀出身のお笑いタレント「はなわ」(本名、高岡輝(二六)二)が、CDシングル「佐賀県」をリリースした。「バスに乗って県道を走ると、一面田んぼだらけ。まるで弥生時代」と佐賀の田舎ぶりを「誇大広告」しているがノリを巻き起こしている。



▲これで一挙にメジャー浮上か?

母校にピアノ寄贈
児童が感謝の会

◎江北町の江北小(江口賢介校長、五百九十三人)は五月二十七日、同校にグラントピアを寄贈した福岡市の岸川富安さん(八〇)を招き、感謝の会を開いた。

岸川さんは一九三四年、江北尋常小を卒業。戦後は不動産業などを営んだ。長年、母校への強い愛着があった岸川さんは、児童たちのために講堂を建てたいと考えたが、体育館があり、グラントピアに変更した。

岸川さんは妻の絹子さん七

「わかしお」が全国制覇

◎諸富町と佐賀市の主婦らでつくる「わかしお」が、第十八回全国離島交流ゲートボール親善大会で初優勝を飾った。全国制覇を成し遂げた選手たちは「次なる栄冠を目指



▲児童からお礼の花束を受ける岸川富安さんと妻の絹子さん

八と連れ立って訪問。同校六年の増富千尋さん、野口奏子さんと有明町在住のピアノニスト西泰子さんがステージに立ち、ショパンの「革命エチュード」などピアノの名曲を演奏した。

児童を代表し、六年の岸川真奈さんが「すてきなプレゼントをありがとうございます」とお礼を述べると、岸川さんは「一生懸命勉強して、日本のため頑張つて」と後輩たちにエールを送った。

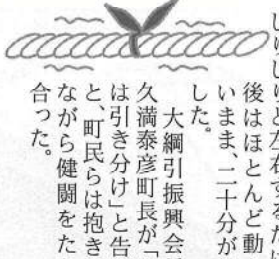
「わかしお」は、一九八八年に結成されたわかしおは、同年の全国選抜大会でいきなり三位となり、昨年も全国離島交流大会で三位に入り、ひそかに全国制覇を狙っていたという。

「呼子大綱引」
岡組、浜組が引き分け

◎四百年の歴史を持つ「呼子大綱引」の大人綱が六月九日、呼子町の三神社前であった。三本目までもつれた今年の勝負は、「岡組」「浜組」とともに一歩も譲らず、引き分け。町民と飛び



▲「岡組」「浜組」とも譲らず、引き分けとなった呼子大綱引き



入に参加の観光客約千人が、祭りのだいご味を味わった。勝負は二十分間の三本勝負で、岡組が勝つた。豊作、浜組がある。一昨年は勝負中に直径十五センチもある綱が切れて決着が付かなかったが、接戦という。浜組が先取し、岡組が追い付いて迎えた三本目。ドラと歓声が響き、引き手たちは最後の力を大綱に込めた。しかし、長さ四百メートル、重さ五トンの大綱は判定ライン上をじりじりと左右するだけ。最後はほとんど動かなくなった。二十分が経過した。

大綱引振興会長の久満泰彦町長が「今年引き分け」と告げると、町民らは抱き合いながら健闘をたたえ合った。

故笹沢さん未完の時代小説
友情補筆で誕生

◎昨年亡くなった作家笹沢佐保さんの三百八十冊目となる作品が生まれた。親交のあった森村誠一さんが、未完となっていた時代小説の完結部分を書き継いだ。生涯書き続けた氏の思いを受け継ぐ「友情補筆」。笹沢氏の世界をほうふつさせる文体と壮大な展開になっている。

完成した小説は「海賊戦幽霊丸 海賊は方舟に乗った」。一九七一年から七二年にかけて、笹沢氏が「小説新潮」で発表したシリーズ。四話まで続いたが、資料をなくした笹沢氏は書く意欲を失い途絶えていた。笹沢氏の一周忌に合わせ、今秋刊行の予定。

森村さんは「他人の作品を書き継ぐのは難しかったが、自分なりにいい決着になったと思う。これ以上のものは考えられない。笹沢さんも『これならいいよ』って言うてくれるでしょう」と話している。



この欄の記事・写真は佐賀新聞社の提供です。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

一瀬泰造の新写真集を刊行

◎一九七〇年代、戦火のインドシナ半島で報道写真を撮り続け、カンボジアで消息を絶った武雄市出身のフリーカメラ

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	郵便番号	住 所 (白宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
於 保 藤 信				トーコー企画	三 根 町
原 竹 岩 海				福岡県議会議員	基 山 町
下 川 勝 廣				佐賀広告センター福岡支社長	佐 賀 市
橋 本 健				大宰府市議会議員	伊万里市
森 山 英 樹				福岡市議会議員	塩 田 町
吉 田 亮					諸 富 町
堀 紀 洋					武 雄 市
木 下 直 哉				西部印刷企画(株)	小 城 町
内 田 大 州				内田設計	佐 賀 市
松 田 淑 朗					佐 賀 市
前 山 敏 恭				公務員	佐 賀 市

トピックス

伊万里湾を結ぶ未来への架け橋 伊万里湾大橋

伊万里港臨港道路は
こんな道路です

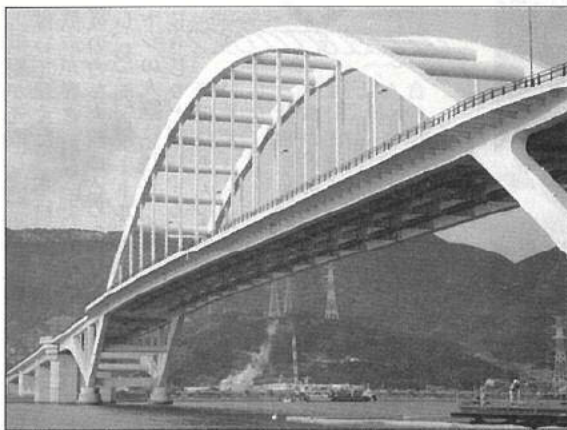
伊万里湾の東西を結び
全長2,920mの道路

今回開通した伊万里港臨港道路は、延長2920m、幅(橋部分を除く)20・75mで、伊万里湾で分断された西岸の山代町久原地区と東岸の牧島地区を結んでいます。

今回の開通は暫定開通で、車道2車線、自転車・歩道1車線での供用開始ですが、最終的には車道4車線、自転車・歩道2車線をめざしています。

主役の伊万里湾大橋は九州最大級のアーチ橋

この道路の主役ともいべき伊万里湾大橋は、長さ651mで、そのうち海上部がおよそ420mのアーチ橋です。海面からの最大の高さは20・5mあり、主橋りょう部(アーチ部の延長390m、高さ30m)はアーチ橋としては九州最大級のものでした。



橋の色彩は、全体に磁器を連想させるシルバーグレーで、手すりには伊万里湾の海を表現する青色が使用されています。また歩道の途中には、伊万里焼をモチーフにした歩行者が立ち止まり憩えるバルコニー空間も整備されています。

車両時間で35分→5分、
距離で13km→3kmに短縮

伊万里港臨港道路の開通により、西岸の山代地区と東岸の牧島地区が、現在のルートに比べ距離

で10km(13km→3km)、車で所要時間で30分(35分→5分)も短縮され結ばれることになります。そのため、大型船が入港できる伊万里湾西岸の伊万里団地と、コンテナターミナルが立地している東岸の七ツ島工業団地の港湾機能が一体化され、港湾活動の円滑化が飛躍的に高まることが期待されています。

また、市街地の混雑解消にもつながるほか、地域住民の生活圏も拡大することが予想され、経済、生活両面においてその効果が期待されます。

会報むつごろ

平成15年7月31日発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎ 092-714-3111
制作 有限会社タナカ
☎ 0955-23-5214

「佐賀県だより」の記事、写真については、佐賀新聞社さんから提供いただきました。ご協力ありがとうございました。(T)

平成十五年年度総会号をおとどけます。水間理事のご協力により写真を多く楽しい頁となりました。ありがとうございます。

編集デスク

佐賀県知事古川康さんのごあいさつも載きました。ありがとうございます。

辻長英県人会副会長の春の叙勲、会員同心中からお祝い申し上げます。

新理事井上説蔵さん、嘉村博さん、永田健生さんのご就任、県人会の益々の発展のため、ご活躍下さいませ。様よろしくお願いたします。